

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	Sunny Kids (児童発達支援)		公表日		2025年5月2日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	63%	37%	利用人数に合わせて環境設定をしている	限られたスペースの中で今後も工夫し安全にすごしていただけるように取り組む
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	人員配置は満たしている	より良い支援が提供できるように状況に応じて人員確保を行っていく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	88%	12%	玄関や出入り口にはスローを設置。フロアにはクッションマットを使用。障がい者トイレも設置している	限られたスペースを工夫し今後も対応していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	88%	12%	限られたスペースで活動に応じて工夫し対応している	引き続き清潔で心地よく過ごせる環境整備に努めていく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	88%	12%	個々に応じて対応できるように取り組んでいる	引き続き個々に応じて環境設定を工夫し対応していく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	ミーティングや会議等で話し合い場を設け業務改善に取り組んでいる	引き続きPDCAサイクルを活用しより良いサービスが提供できるようにしていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	75%	25%	保護者様等の意向を業務改善につなげていけるように取り組んでいる	保護者様それぞれの考えがある為、全ての意向を業務改善に繋げていくのは難しいが、今後もより良い事業所を目指して業務改善に取り組んでいく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	気になる事はその都度話し合うようにしている。会議や連絡ノートを通して共通理解できるように取り組んでいる	引き続き話しやすい、相談しやすい職場を目指して取り組んでいく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	行政書士の先生に定期訪問していただき助言をいただいている	引き続き行政書士の先生に定期訪問をしていただき業務改善を行っていく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月研修を実施している	職員の資質の向上を目指し外部研修にも積極的に参加していく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	ホームページにて公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	ご利用者様、保護者様のニーズや課題を更新する度にお聞きし作成している	引き続きご利用者様、保護者様の意向やニーズをお聞きしより良い支援計画を作成していく
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	参加できる職員は担当者会議に参加してもらうようにしている	引き続き、より良い支援計画を作成するために職員一同で取り組んでいく
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	個々の特性を把握し計画に沿って支援を行えるように取り組んでいる	引き続き計画書に沿った支援が行えるように職員間で情報を共有し取り組んでいく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	アセスメントシートを盛り込んだ利用調査票を活用している	引き続き必要に応じて職員間で話し合いを行いアセスメントツールの見直しを行っていく
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	支援内容の項目は適切に選択し、具体的な支援内容を設定し作成している	引き続き利用児童、保護者様が分かりやすい支援内容の設定を心掛けていく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	12%	職員間で話し合い活動プログラムを立案している	引き続き職種間で話し合いより良いプログラムを立案していく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	75%	25%	職種間で話し合い固定化にならないように取り組んでいる	こだわりやルーティン等で活動が固定化してしまう部分もあるが、出来るだけ新しい物事も取り入れていけるようにする

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	75%	25%	個別、集団活動を組み合わせ支援計画書を作成している	引き続き個別、集団活動を組み合わせ、個々に合った支援計画書を作成していく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	処置一覧表、送迎表を用いて確認している	引き続き処置一覧表、送迎表を用いてその日の支援や役割分担を確認できるようにする
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	その日に気になった事は出来るだけその日に職員間で話し合いをするようにしている。職員用の連絡ノートを活用し共有している	引き続き支援終了後に出来るだけ話し合いの場を設ける。お休みだった職員も情報を共有できるように引き続き連絡ノートを活用する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々の様子は個人日誌を作成し入力、保存している	引き続き個人日誌を活用し支援の検証・改善に繋げていく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	6か月に一度モニタリング、担当者会議を行い見直しの有無を判断している	職員間で話し合いの場を持ち、必要時はモニタリングを行い見直しの必要性を判断していく
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児発管、看護師、保育士が参加。PT、STには事前に情報を確認している	引き続き利用者様の状況を理解した職員が会議に参加できるようにする。PT、STとは日程調整が難しいこともあり会議前に個々の情報を確認しておく
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	75%	25%	関係機関と必要に応じて連携している	出来るだけ地域の研修等にも参加し連携を深めていけるよう取り組んでいく
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	88%	12%	送迎時の際などは園での様子を聞くなど情報交換を行い共有するようにしている	引き続き情報共有を行い相互理解に努めていく
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	75%	25%	連絡が来た際は情報提供を行い相互理解できるように努めている	引き続き情報共有を行い相互理解に努めていく
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	63%	37%	必要に応じて連携している。研修会にもできるだけ参加するようにしている	現場が忙しく、研修会になかなか参加できない部分もある。引き続き参加できるように業務改善を行っていく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%		重心のお子様を対象ということでなかなか交流の場を設けることが出来ていない。保護者様より希望があれば今後検討していく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	連絡帳を用いて情報共有を行っている。また送迎時にも保護者様と直接お話し情報共有を行っている	引き続き事業所での様子や状態を連絡帳に記載していく。送迎時も保護者様と直接お話し情報共有に努めていく
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	63%	37%	保護者様が参加できる勉強会を年に2回程度実施。相談事があった際はその都度助言させていただいている	ペアレント・トレーニングを行えるように研修に参加し支援を行えるようにしていく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に重要事項説明書、契約書を用いて丁寧に説明するように心掛けている	引き続き重要事項説明書、契約書を用いて丁寧に説明を行っていく
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	必ず利用者様、保護者様の意向をお聞きし、支援計画書を作成するようにしている	引き続き利用者様、保護者様の意向を確認し、より良い支援計画を作成できるように取り組んでいく
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	必ず支援内容の説明を行い同意を得るようにしている	引き続き支援内容の説明を行う。納得し同意をしていただけるようにより良い支援計画書を作成できるように取り組んでいく
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	迅速かつ適切に対応するように心掛けている。相談内容によって専門職が対応するようにしている	引き続き相談や申し入れがあった際は迅速かつ適切に対応できるように取り組んでいく

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	63%	37%	各地域の保護者会活動を支援している。事業所では年に2回程度ではあるが保護者様を対象にした勉強会を開いている。	各地域の保護者会活動には今後も協力させていただく。保護者様の意向を確認しながら勉強会の回数などを今後検討していく
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	迅速かつ適切に対応するように心掛けている。相談内容によって専門職が対応するようにしている	引き続き相談や申し入れがあった際は迅速かつ適切に対応できるように取り組んでいく
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	88%	12%	2か月に1度事業所便りを作成し発信している。1か月に1度事業所での様子を写真にまとめてLINEでお送りしている	引き続き事業所便りを発行し事業所での様子をお伝えできるように取り組んで行く。もう少しHPでの情報発信をしていけるようにする
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	利用者様情報は鍵付きロッカーにて保管している	引き続き個人情報の取り扱いには十分注意していく
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	電話、LINE、写真、手話、個人日誌の提示を行い情報伝達をしている	引き続き利用者様、保護者様に合わせた対応を心掛けていく
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		重心の児童が対象ということもあり地域住民を招待する行事などは実施できていない。地域の祭りなどには参加するようにしている
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	75%	25%	職員に関しては内部研修を行い周知している	保護者様にも周知していただけるように配布物や会報にてお知らせするなど取り組んでいく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）は策定し、必要な訓練は行っている	引き続き、緊急時に備えて対応できるように取り組んでいく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時にお聞きしたり、利用調査表に必要な情報を記入していただいている	引き続き保護者様から服薬の変更や予防接種の有無、発作の状況などを確認しておく
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	契約時にお聞きしたり、利用調査表に必要な情報を記入していただいている	引き続き食物アレルギーに注意し保護者様と情報を共有していく
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を作成し、安全管理に努めている	保護者様にも周知していただけるように配布物や事業所便りにてお知らせするなど取り組んでいく
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	50%	50%	日頃から保護者様とは情報共有するように努めている	安全計画について保護者様に周知していただけるように取り組んでいく
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	職員がいつでも閲覧できるようにしている。内部研修も実施している	引き続き事業所内で共有し危険防止に努めていく
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待に関する内部研修を実施。外部の虐待研修にも参加している	引き続き内部研修、外部研修に参加し虐待防止に努めていく	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	保護者様に確認をとり職員間で情報共有を行っている	今後も利用児童、保護者様と事前に話し合いを行いその都度対応していく	